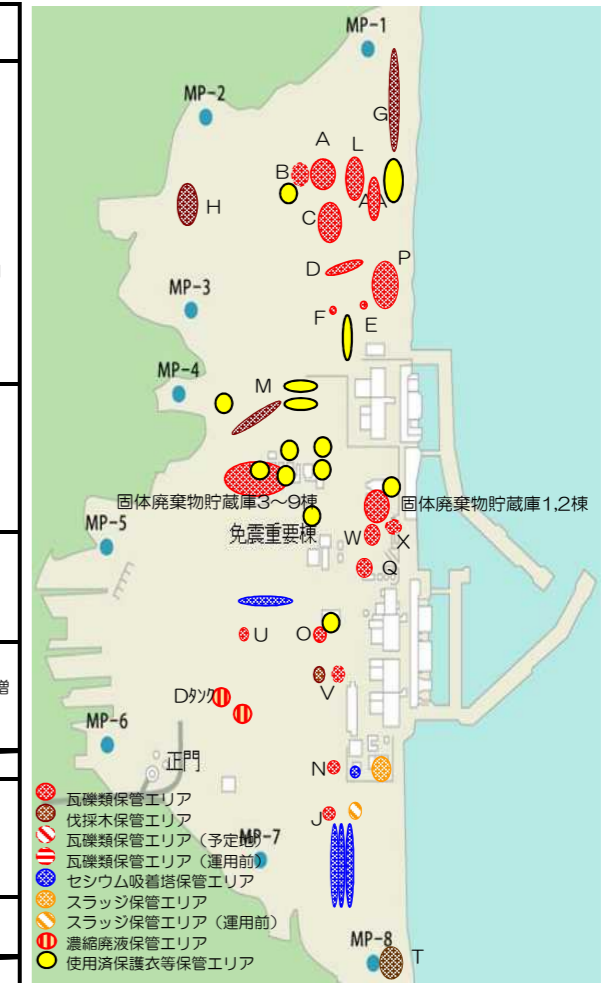


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.1.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.12.27 - 2020.1.31)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.2	500 m ³	-100 m ³	⑤	0%	206300 / 266500 (77%)	<ul style="list-style-type: none"> フランジタンク解体片 2020年1月末時点でコンテナ990基保管。 エリアP1 コンテナ数: 622基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 368基 (2018年3月15日~) エリアAの運用変更により、保管容量 (13,800m³) 増加。 (2020年1月) エリアAは1~30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固 体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。
	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	0 m ³	—	100%		
	C	屋外集積	0.01未満	63,300 m ³	微増	①②③	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0 m ³	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	43,500 m ³	0 m ³	—	85%		
	P1	屋外集積	0.01未満	52,700 m ³	+800 m ³	①②	82%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	5,900 m ³	+400 m ³	①③	98%		
AA	屋外集積	0.01未満	12,100 m ³	+300 m ³	④	33%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	42200 / 71000 (59%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,200 m ³	0 m ³	—	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,800 m ³	0 m ³	—	64%		
	W	シート養生	0.03	11,700 m ³	+400 m ³	②	40%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 容器 (1~ 30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100%	17600 / 24600 (72%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量 (4,000m³) 増加。 (2018年5月) エリアAの運用変更により、保管容量 (7,100m³) 減。 (2020年1月)
	E2	容器 ^{※4}	0.01未満	1,000 m ³	+300 m ³	①②	54%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
Q	容器	0.04	0 m ³	0 m ³	—	0%			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	20,600 m ³	+400 m ³	②⑤	45%	20600 / 45600 (45%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量 (33,600m³) 増加。 (2018年2月)
合計(カレキ)				286,700 m ³	+2,600 m ³	—	70%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	微減	⑤⑥	63%	96900 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	300 m ³	+100 m ³	⑤⑥	4%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
合計(伐採木)				134,200 m ³	+100 m ³	—	76%		
保護衣 屋外集積	容器		0.03	47,200 m ³	-900 m ³	⑦	69%	47200 / 68300 (69%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量 6992t (2020年1月末累積) 焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1695本 (2020年1月末累 積)
合計(使用済保護衣等)				47,200 m ³	-900 m ³	—	69%		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由: ①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④フランジタンク除染作業
 ⑤エリア整理のための移動 (A→固体庫、G→V) ⑥伐採木受入 ⑦焼却運転

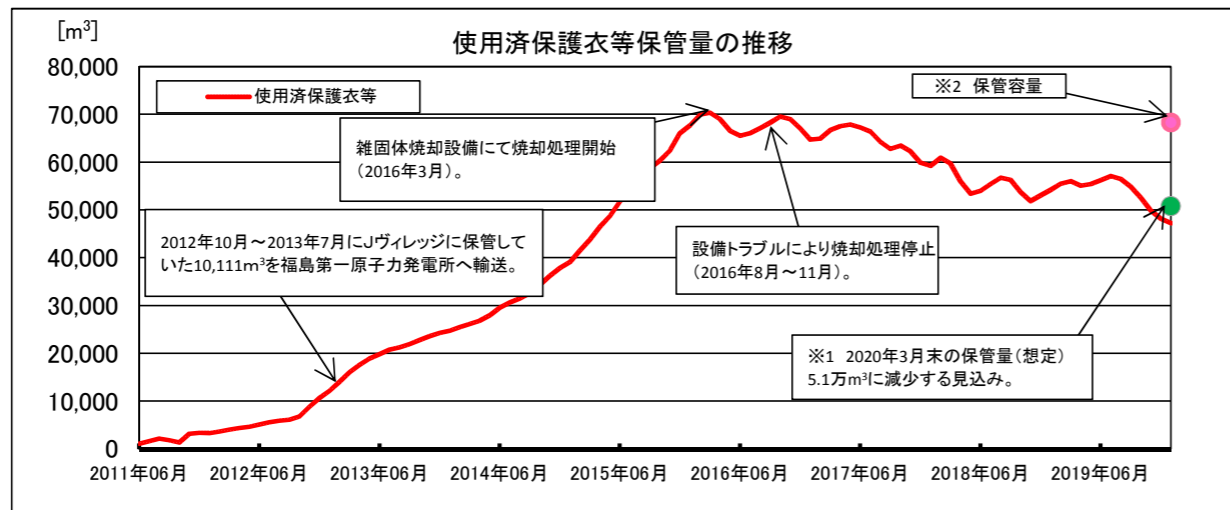
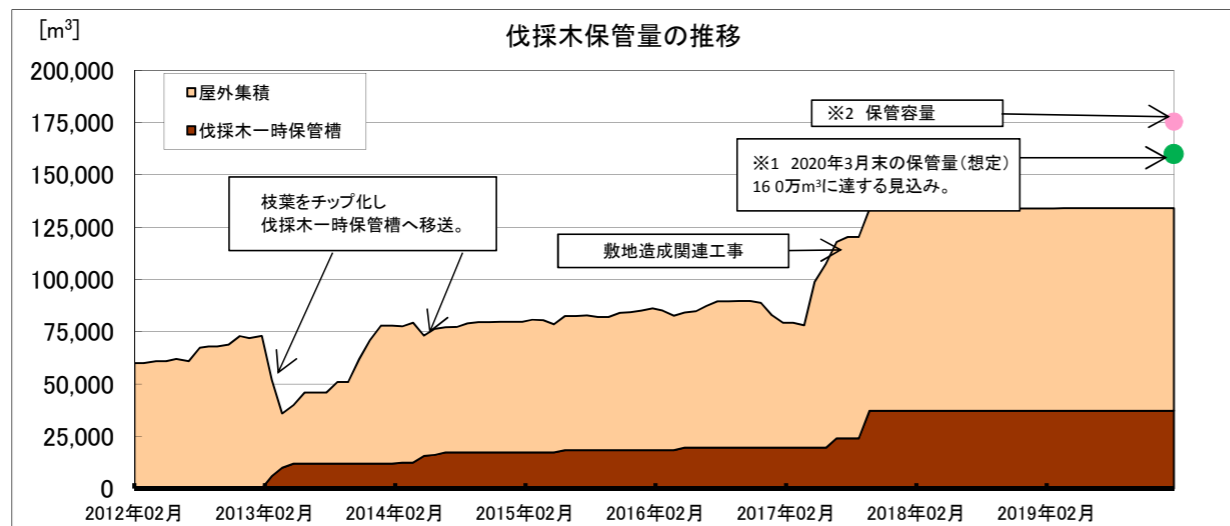
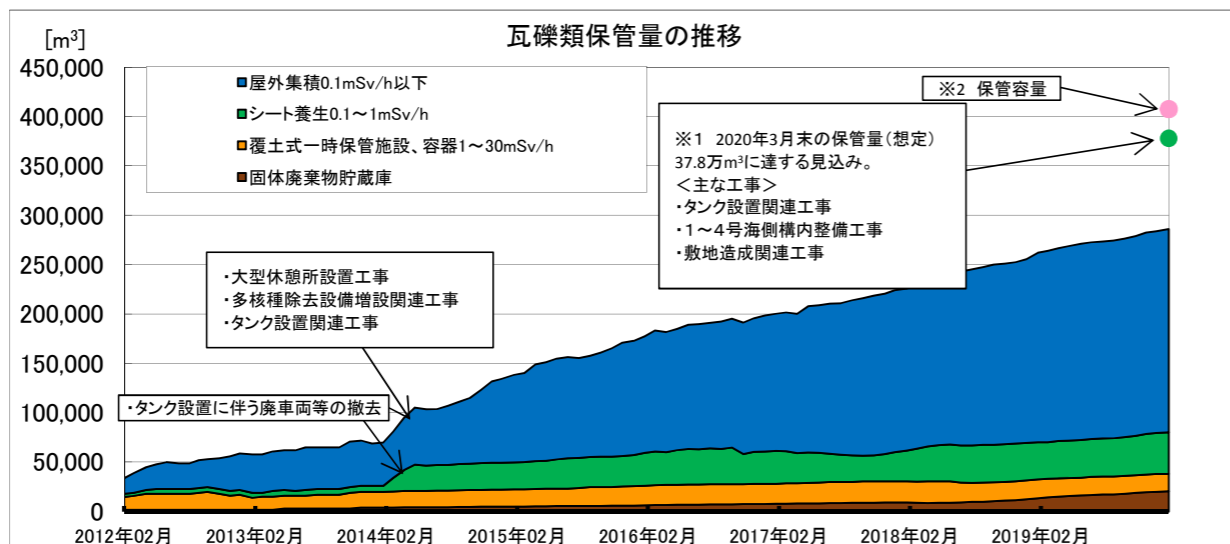
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2020.2.6時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 (2020.1.9 - 2020.2.6)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	4648 / 6372 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分) 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	226 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,711 基			+10 基
			増設	1,633 基			+19 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本			0 本
多核種除去設備処理カラム	既設	15 塔	+4 塔				
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	210 本	+1 本			
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,322 m ³	-23 m ³	9322 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量: 9222 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m] 	

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.1.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.2.6時点)

